

文教環境分科会

議案第65号 令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第3号）

○小学校費／維持修繕費 1,761万6,000円

（概要） 平成30年度に実施した小学校遊具の保守点検によって危険と判定され、使用禁止にしている22校43遊具の撤去工事を行おうとする経費を計上するもの。

質疑 以前から使用禁止としていた危険な遊具を、今回撤去するのはどのような理由によるのか。また、これまで修繕・撤去するなどの対処は行っていなかったのか。

答弁 遊具の点検については、文部科学省の通達に基づき、年1回の保守点検・安全対策を実施している。業者に点検を委託し、危険な遊具については使用禁止にしていたが、今回、事故を未然に防ぐために撤去する判断をした。
また、修繕・撤去の対処については、これまでも現年度予算の中で対応していたが、限られた予算では対応に限界があった。



危険な遊具の例

地域福祉分科会

議案第65号 令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第3号）

- 児童福祉費／子育てのための施設等利用給付事業費 2,250万円
- 児童福祉費／幼児教育・保育無償化実施円滑化事業費 2,831万円
- 教育総務費／子どものための教育・保育給付事業費 1,956万円
- 教育総務費／子育てのための施設等利用給付事業費 2億2,080万円
- 教育総務費／子ども・子育て支援交付事業 540万円
- 幼稚園費／幼稚園運営費 200万円

（概要） 令和元年10月実施予定の幼児教育・保育の無償化に対応するための経費を計上するもの。

質疑 副食費の滞納に対し、市はどのように対応するのか。

答弁 副食費の徴収については、保護者と園との関係であり、私立の園については市が介入することはできないが、相談体制をしっかりと整備することで、全てが園まかせにならないように対応したい。

質疑 本年度の市の負担となる部分については、国から地方特例交付金として全額が交付されるが、来年度以降の市の負担についてはどうか。

答弁 新たに無償化の対象となる認可外保育施設などの市の負担割に加え、公立幼稚園・保育所の費用については全て市の負担となる。ファミリー・サポート・センター、病児・病後児保育などの利用についても市の負担は増えると考えられ、幼児教育・保育に関する来年度の当初予算は、今年度の当初予算と比べて2億円程度の増額となる見込みである。

